

# 3 指標合計

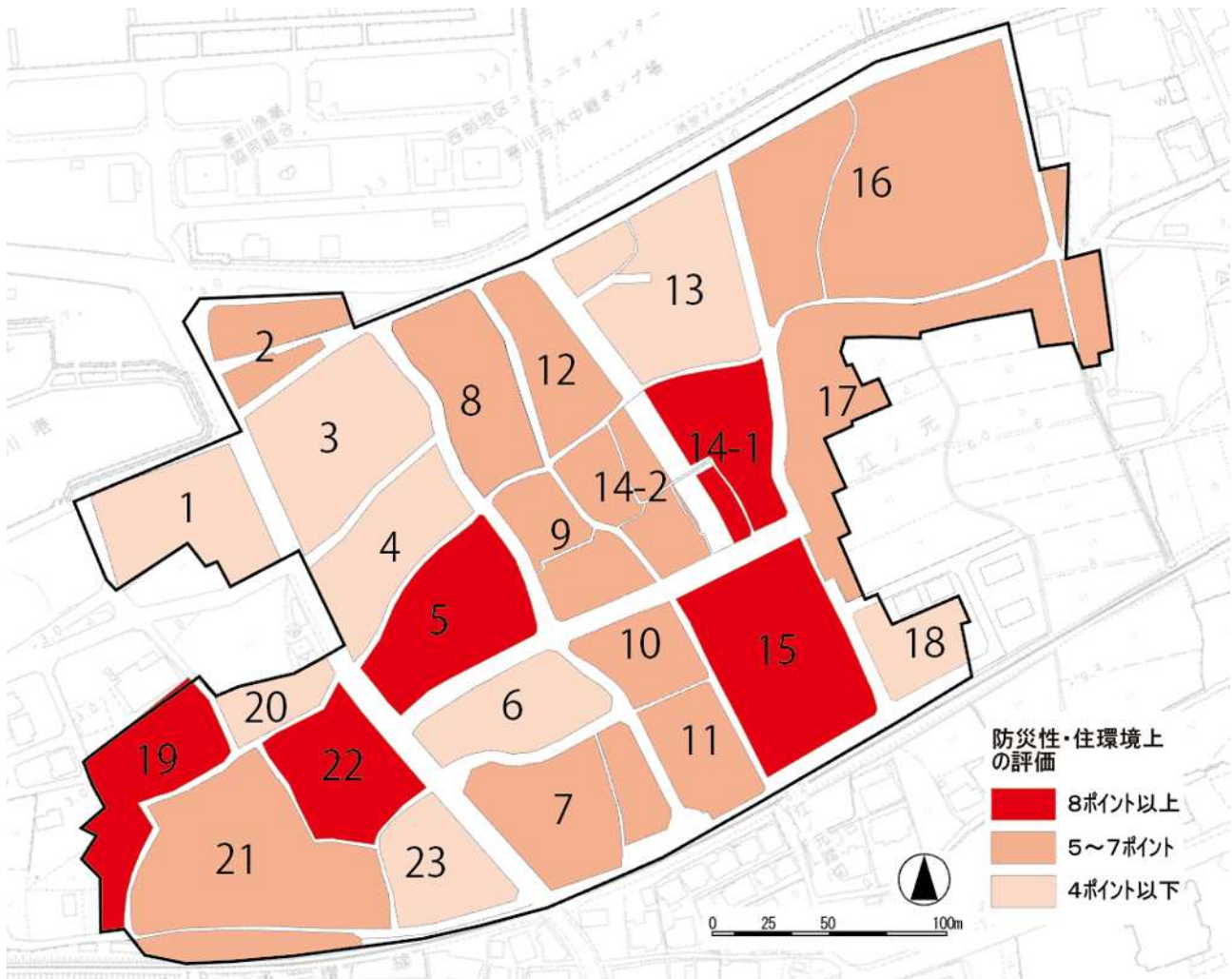
## 防災性・住環境上の市街地の評価

- ・上記3指標（「老朽木造建物割合」「延焼抵抗率」「接道不良建物割合」）を重ねて、防災性、住環境上の課題をポイント化して街区を評価した。
- ・ポイント化には以下のように、より課題の大きい場合を重く評価した。

老朽木造建物割合	75%以上 3ポイント	50%以上 2ポイント	25%以上 1ポイント
延焼抵抗率	0.2以下 3ポイント	0.3以下 2ポイント	0.35以下 1ポイント
接道不良住宅割合	60%以上 3ポイント	30%以上 2ポイント	15%以上 1ポイント

- ・5、14-1、15、19、22の街区で住環境上の課題が残っている。江之元中央線(中)、岩崎線(東)、新開地区等整備計画の見直し対象の区域と重なる。

## 防災性・住環境上の評価



街区毎の建物等の現況及び指標

(街区指標)

街区	老朽木造 建物棟数 割合	延焼抵抗 率	接道不良 建物割合	防災性・住 環境場の 評価ポイ ント	接道不良 建物棟数 (無接道含 む)	無接道建 物
	1	2	3	4	5	5
1	71.4	0.264	0.0	4		
2	100.0	0.000	0.0	6		
3	72.7	0.210	9.1	4	1	1
4	60.0	0.375	60.0	4	6	
5	83.3	0.146	58.3	8	7	1
6	0.0	0.790	0.0	0	0	
7	63.6	0.208	18.2	5	2	
8	46.7	0.235	40.0	5	6	
9	66.7	0.013	55.6	7	5	1
10	100.0	0.596	50.0	5	1	
11	50.0	0.069	37.5	6	3	
12	18.2	0.146	54.5	5	6	
13	43.8	0.227	6.3	3	1	1
14-2	30.0	0.296	60.0	5	6	2
14-1	90.9	0.089	54.5	8	6	4
15	73.9	0.000	56.5	7	13	7
16	63.2	0.332	52.6	5	10	6
17	56.5	0.000	56.5	7	13	3
18	33.3	0.473	0.0	1		
19	66.7	0.192	100.0	8	6	
20	33.3	0.486	66.7	4	2	
21	65.0	0.291	110.0	7	22	
22	88.9	0.000	66.7	9	6	
23	33.3	0.486	33.3	3	2	
総計	60.9	0.210	47.5		124	26

- 1 1980年以前(地区35年以上、ほぼ新耐震以前)の裸木造、防火木造
- 2 セミグロス面積は道路を除く(ネット宅地とする場合)
- 3 4m未満及び無接道(住宅地図上の判断)
- 4 老朽木造建物割合75%以上3ポイント、50%以上2ポイント、25%以上1ポイント、  
延焼抵抗率0.2以下 3ポイント、0.3以下2ポイント、0.35以下1ポイント  
接道不良住宅割合60%以上 3ポイント、30%以上2ポイント、15%以上1ポイント
- 5 4m未満及び無接道(住宅地図上の判断)